



2015・8・11

第 212 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

草の根の世論かえるあらゆる手だてを！

展望ひらく「交流・討論集会」に

8月12日の事務局主催の「交流・討論集会」は、集会の基調提案となる主催者あいさつ（渡辺治事務局員）、各地・各分野の草の根における実践報告・討論、まとめのあいさつ（小森陽一事務局長）というプログラムが予定されています。戦争法案の廃案に向けて、展望を開く集会になるよう積極的参加が期待されます。

各地域・分野に深く浸透めざして

【新潟県阿賀野市】 「憲法九条を守る阿賀野の会」は7月18日、結成10周年の記念集会を開き、150人が参加しました。

10年前、阿賀野川の北側に広がる農村地帯で2町2村が合併してできた阿賀野市で「会」ができたときには、旧町村の町長、村長、教育長、農協組合長等をつとめた人たちが呼びかけ人に名をつらね、活発に宣伝活動や学習活動を展開しました。しかし時がたつにつれ、亡くなったり、高齢になったりして活動の量が少なくなりました。

そこでここ数年は呼びかけ人を増やし、新しい力を引き出すことに力をそそいできました。その結果、呼びかけ人は新しく加

＜九条の会事務局主催＞

戦争法案は廃案に！ 九条守れ 九条の会交流・討論集会

参加希望の方は、お名前、所属の九条の会、住所、電話・FAX番号を事務局までFAX・メールでご連絡下さい。

▽日時 8月12日（水）

午後6時～8時30分 参加無料

▽会場 東京しごとセンター

東京都千代田区飯田橋3-10-3

（JR、地下鉄東西線・有楽町線・南北線 飯田橋駅下車 徒歩10分）

＜九条の会事務局主催・民科法律部会協賛＞

「戦争法案」廃案に向けて 法学者と学生・市民のつどい

▽日時 8月12日

午後2時30分～4時30分 事前申込不要

▽会場 東京しごとセンター

▽出席予定 浦田一郎（憲法）、新倉修（刑事法）、城秀孝（国際法）、渡辺治・小澤隆一（九条の会事務局）等。

わった18人を含め37人に。市連合老人ク

ラブ会長、元教育委員長、元体育協会会長、白鳥を守る会長などが名を連ね、賛同会員は255人になりました。

昨年は独自ポスター500枚の張り出し、大型ビラ1万3000枚の各戸配布、会員拡大の3大行動に取り組みました。今年はさらに、旧4町村単位の活動強化を掲げ、賛同会員を増やし、戦争法案反対と「9条のぼり」を立てての街頭宣伝、126の全集落での宣伝、文化団体、宗教界、医師会への協力要請活動などを目標に活動しています。

地域の諸団体と協力して

【栃木県足利市】 7月25日、戦争法案反対を呼びかけるパレードが初めて行われ、市民ら約70人が参加しました。「足利・九条の会」と「足利・脱原発気軽に座談会」が呼びかけたもので、参加者は炎天下、約4キロを歩き、アピールしました。

出発に先立ち、同「九条の会」代表で徳正寺の采澤良浩住職が、戦争法案阻止の大切さを訴えました。

参加した男性(22)は「戦争法案が国会に提出された時から危機感があった。戦争を避けるために、成立させてはならない」と話し、別の男性(23)は「戦争する行為に『1ミリ』でも近づきたくない。戦争による直接の被害者は、私たちや次の世代だ」と述べました。

【長野県栄村】 7月26日、28台の軽トラックを連ねて「戦争絶対反対、憲法9条を守ろう！栄村集会&軽トラ村内デモ」が行われました。主催は栄村9条の会、農民組合などでつくる実行委員会です。2時間半かけて7割の集落を回りました。

出発式で実行委員長の高橋彦芳前村長が

「憲法違反の烙印(らくいん)を押されている

宝塚市長が市広報で戦争法案批判

兵庫県宝塚市の中川智子市長は、市の広報誌「たからづか」8月号で、衆院での「戦争法案」強行採決を批判し、市長としてこの法案を容認できないと表明しました。

中川市長は、広報紙の「市長からの手紙」で、衆院で3人の憲法学者が「憲法違反」と断じ、国民の8割が審議が不十分としていることなどを示し、「『誰のために、何のために』がはっきりしないまま、憲法をないがしろにしたこの法案を通すことは、市民の命を守らねばならない市長として断じて容認することは出来ません」と批判しています。

戦争法案の強行採決は許せない」と強調。島田茂樹村長が激励のあいさつに駆けつけました。先頭の宣伝カーが「戦争法案に反対するデモです」と呼びかけながら走りました。

参加者は、「政治の方向性が悪い」、「強行採決をテレビで見て、余計に腹が立った」など口々に怒りの言葉を述べました。高橋門平さん(84)は「今やらなくて、やる時があるのか。参院でどうしても阻止したい」。

沿道の田んぼや畑から農作業の手を休め「なんだ」と軽トラの車列を見る村民や、家の前で大きく手を振ってデモを見送る女性たちの姿が見られました。

コツコツと7年 署名6000人を突破

【宮城県仙台市】 仙台市宮城野区の仙台駅東9条の会による憲法9条を守る署名への賛同が6000人を突破しました。

会は「輝け！9条 守ろう！平和を」と

訴えながら7年間毎月、署名活動を行ってきました。

安倍政権のやり方への怒りで、これまで15ヶ月はかかっていた署名1000人を、約1年で達成することができました。

「みなさんが頼りです。がんばってください」と署名する家族が自衛隊員だという女性もいました。現職の自衛隊員が署名したこともありました。

自衛隊父兄会にも署名協力よびかけ

【山形県】 山形県九条連絡会は7月25日、活動交流決起集会を開きました。

高木紘一会長があいさつ、山形大学の中島宏准教授が講演し、「安倍政権への抗議の電話やファックスなど、できることをやろう」とよびかけした。

活動交流では三川九条の会が、「町長や自衛隊父兄会など幅広い団体を訪問し署名への協力を呼びかけている」、南陽市九条の会が「8月1日に戦争法案に反対する市民集会を行うが、集会の賛同者は10市議(17人中)を含め247人になっている」と報告しました。

活動休止状態になっている会の参加者は「報告を聞いて励まされた。急いで会議を開き活動を再開したい」と話していました。

俳句つうじて戦争法案への怒り表現

【大分県】 俳人九条の会大分は7月23日、第9回平和・九条俳句大会を大分市で開きました。

九州各県をはじめ北海道、関東などから昨年を上回る287句の投句があり、合評会では、戦争の悲惨さを訴える「人間魚雷別れは母に峰雲に」、南スーダンに派遣された自

衛隊員の息子を思う「母の日や無傷で戻れ派兵の子」、戦争法案に抗議する「晶子の忌『君死にたまえ』と宰相吼(ほ)ゆ」など11句が入選作に選ばれました。

代表の万葉太郎さんは「戦後70年の節目に戦争法を強行する安倍政権への怒りが強く反映している」と指摘しました。

【北海道札幌市】 札幌俳人9条の会は20日、札幌市内で総会を開きました。

「9条の会ネットワーク北海道」の今野平支郎氏を講師に、戦争法案の狙いを学習し、廃案まで力を尽すことを決意しました。

討論では、安倍首相が米議会で法案を「8月まで成立させる」と約束したことや、「自衛隊員にリスクはない」と言っていることに批判が出ました。

学習会後に句会を開催。合評の結果、次の句が高点を得ました。

「戦せぬ国に生き来て古稀の夏」「目覚めれば昭和十六年かもしれぬ」「九条古稀守り守られ敗戦日」「七十年ぼっちの平和原爆忌」

九条の会結成の便り

【岡山県倉敷市】 岡山県の憲法9条を守る児島の会の結成総会が7月26日、95人が参加して開かれました。

総会では一人ひとりの会員が9条改憲反対を発信したり、署名に取り組む、とくに戦争法案をめぐるたたかいが激化する9月末までは「9の日行動」を行うなどの活動方針を確認。

7月29日にはさっそく児島支所東の交差点で、これまでにない23人が参加して宣伝行動をおこないました。